

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3
(園番号) No. 124 (園名) 牧島保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 10の姿や学びに視点をおいた計画の作成やエピソード記録、学びの育ちについて月案会議を通し職員間で共有する。	(1) ○	計画通りに取り組めたが、職員間での共有の場をより多く持つことを次年度の課題としたい。
		(2) 園行事の後には、保護者にアンケートを行い、次回の改善を目指す。	(2) ○	行事の持ち方と、アンケートの結果を基に、考えたり工夫したりした。
		(3) ふくいっ子ファイルや育ちの支援計画シートの作成をして、保育カウンセラーと連携を取りながら、職員間で共通理解をし、よりよい子どもの関わり方を学ぶ。また、一人一人に合った教育、保育を実践する。	(3) ◎	専門職からのアドバイスを参考にし、考案した活動や環境構成を保育に取り入れた。
		(4) 危険個所の安全点検と改善の実施と園舎内外の環境及び衛生管理の実施。事故報告とヒヤリハットで対応を検討し、安全について共有する。	(4) ◎	毎月の園舎内外の危険箇所の点検をして、安全管理に努めた。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 職員一人一人が研修に参加した時には、職員間で伝達研修をして、各自が取り組む。	(5) ○	研修報告書を作成し、報告の機会を設けた。
		(6) 運営管理能力向上のための研修の実施 ・園長研修や県内外の研修に参加し、運営管理能力の向上を図る。	(6) ○	
		(7) 職員への研修等の情報提供をし、一人一人に合った資質の向上のための研修計画を作成し実施する。	(7) ○	オンラインや園内での研修を行った。保育の見せ合いを行い、一人一人の質の向上につながった。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 連絡帳やドキュメンテーションを通し、園での様子を伝え、子育ての不安を解消する。子育てへの不安等を把握しながら、育児に対する助言をしていく。	(8) ○	
		(9) 気がかりな子の個別計画を立て、懇談など家庭との連携を取りながら、共に子育てに取り組む。	(9) ○	必要に応じて、個別懇談を行い、保護者の状況に合わせて対応していった。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放や行事の情報を提供し、子育て支援事業の充実を図る。園開放には、育児相談や援助をしていく。	(10) ○	新型コロナウイルス感染防止のため、少人数での実施を行った。いいものつくろう(手型を使って)好評だった。
		(11) 一時預かりの受け入れの実施を行い、地域子育ての支援を行う。	(11) ○	
		(12) 保育園見学や園開放などを利用し、保育相談や援助を行う。	(12) ○	
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 乳幼児検診の受診の有無を把握し、未受診者には受診を促す。また、必要な場合は、健康管理センターとの連携を行う。	(13) ○	
		(14) 散歩で出かける公園や散歩コースの下見をし、危険個所や点検を行い安全に散歩に出かけられるようにする。	(14) ◎	5類になり、異年齢児やクラス単位で散歩を行った。下見を行い、危険箇所の確認を職員間で行った。
		(15) 保育カウンセラー、小学校特別支援コーディネーター及び特別支援学校教諭と連携を図り、スムーズに就学が出来るようにする。	(15) ○	
		(16) 子育て支援に関わる関係機関の情報を園に設置して、自由に持ち帰れるなどして提供する。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域のボランティアの方と連携を図る。(おはなし会を実施する。)	(17) ○	地域のボランティアの方と連携し実施できた。おはなし会では、新しい絵本の提供もあり、保育士の学びにもなった。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 園開放、人形劇など行事についてポスター等で情報提供し、一緒に参加してもらう。	(18) ○	
		(19) 公民館の行事参加や交流を通し、地域に園への理解を深める取り組みを行う。	(19) ○	人形劇は、子どもが知っているお話で、楽しんで鑑賞することができた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 保護者に保育参観等への参加を呼びかけて体験してもらい、子育てへ関心を高めてもらう。	(20) ○	保育体験を行い、子どもの日頃の様子を、知ってもらうことができた。
		(21) 地域の関係機関担当者との連絡及び行事参加。(敬老会へ参加し出演する)	(21) △	地域の関係機関担当者との連絡はとることができたが、園の行事を控えていたため参加が出来なかった。次年度は日程の調整を考慮し参加できるようにしていきたい。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会動向と求められる保育園の役割についての研修に参加する。	(22) ○	
		(23) 園内研修で学んだことを、研究発表会で意見提示し、発表する。	(23) ◎	保育研究合同発表会は、web上で見れる場として作成し、見ってもらうことができた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) 「アクションプログラム」に基づいた活動計画案作成し、実施する。	(24) ○	5類になったとはいえ感染もあるので、新型コロナウイルス感染状況を確認しながら実施。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。